

情報連絡員報告総括表(令和2年4月分)

三重県中小企業団体中央会
 連絡員総数 40名
 回答数 40名 (100%)

業界の景気動向(前年同月比)

		売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>(臨時・パートを含む)</small>			業界景況								
		増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少	上 昇	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	上 昇	不 変	悪 化	増 加	不 変	減 少	好 転	不 変	悪 化						
製 造 業	食 料 品		1	3	2	2			3	1		3	1		1	3		2	2		2	2		4			1	3						
	織 維 工 業			3		2	1		2	1		2	1			3		1	2		2	1		3				3						
	木 材 ・ 木 製 品			1		1				1			1			1			1			1		1				1						
	紙 ・ 紙 加 工 品			2		2			1	1		2				2		2				2		2			1	1						
	印 刷			1		1			1				1			1			1			1		1				1						
	化 学 ・ ゴ ム																																	
	窯 業 ・ 土 石 製 品			3	1	2			3			2	1			3		2	1		1	2		3				3						
	鉄 鋼 ・ 金 属			1			1		1			1				1		1				1		1				1						
	一 般 機 器			3	1	1	1		2	1		2	1			3		1	2			3	1	1	1			3						
	電 気 機 器			1		1			1			1				1			1			1		1				1						
	輸 送 機 器			1			1		1			1				1			1			1			1			1						
	そ の 他																																	
小 計			1	19	4	12	4		15	5		14	6			1	19		9	11		5	15	1	17	2		2	18					
非 製 造 業	卸 売 業			2		1	1		2			2				2		2		X				2				2						
	小 売 業	1	5		1	3	2		5	1		3	3		1	5		2	4					5	1		1	5						
	商 店 街			1			1	1					1			1			1						1			1			1			
	サ ー ビ ス 業		1	4	X				4	1		3	2		1	4		2	3					3	2		2	3						
	建 設 業	1	3						4			4			4			4						4			4			4				
	運 輸 業		1						1			1			1			1						1			1			1				1
	そ の 他			1					1			1			1			1						1			1			1				1
小 計		1	6	13				1	4	4	1	17	2		13	7		6	14		11	9		16	4		7	13						
合 計		1	7	32				5	16	8	1	32	7		27	13		7	33		20	20		5	15	1	33	6		9	31			

最近の主要指標の前年同月比D Iの推移

(平成31年4月～令和2年4月)

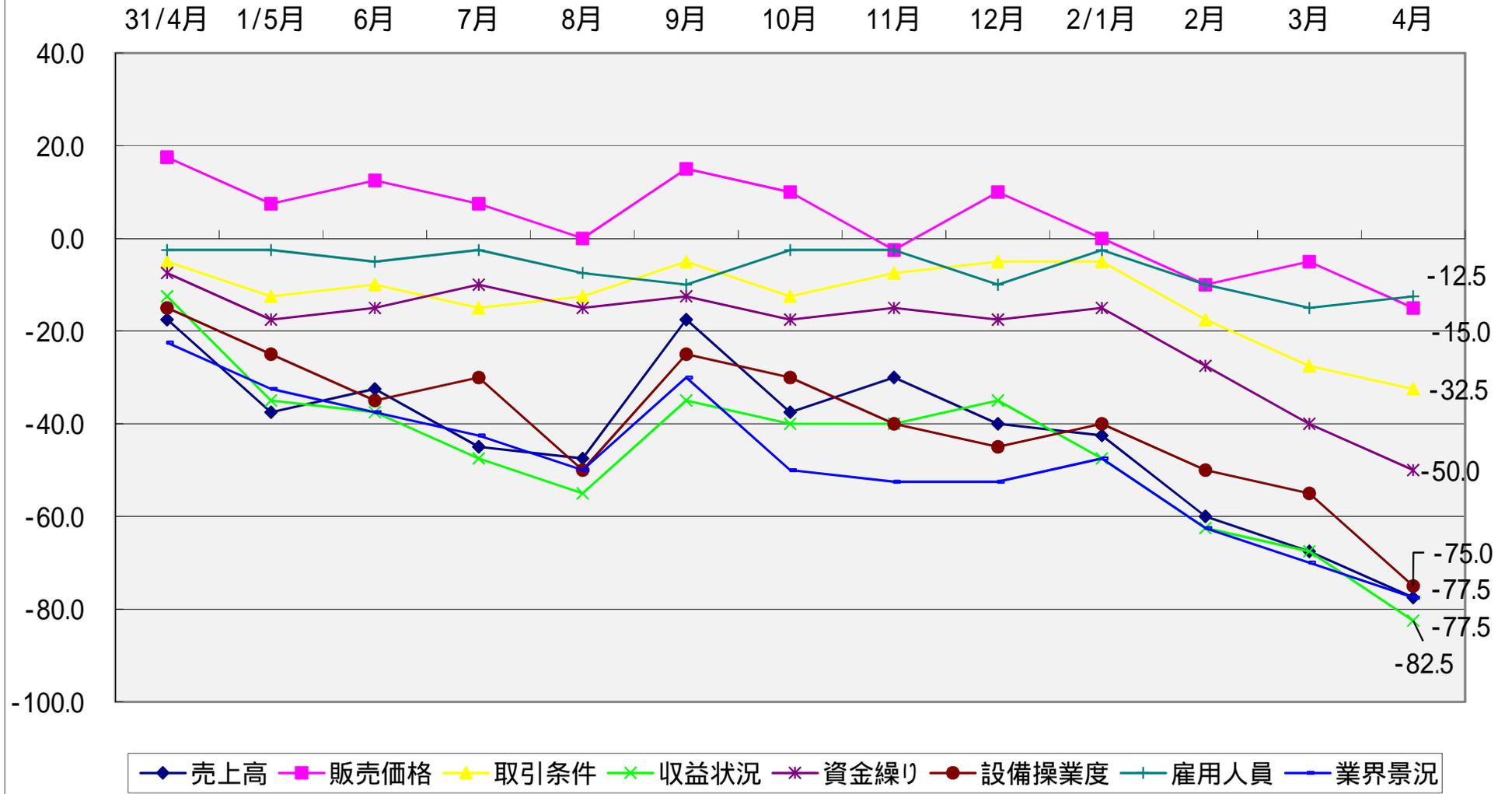
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	31/4月	1/5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2/1月	2月	3月	4月	増減
売上高	-17.5	-37.5	-32.5	-45.0	-47.5	-17.5	-37.5	-30.0	-40.0	-42.5	-60.0	-67.5	-77.5	-10.0
販売価格	17.5	7.5	12.5	7.5	0.0	15.0	10.0	-2.5	10.0	0.0	-10.0	-5.0	-15.0	-10.0
取引条件	-5.0	-12.5	-10.0	-15.0	-12.5	-5.0	-12.5	-7.5	-5.0	-5.0	-17.5	-27.5	-32.5	-5.0
収益状況	-12.5	-35.0	-37.5	-47.5	-55.0	-35.0	-40.0	-40.0	-35.0	-47.5	-62.5	-67.5	-82.5	-15.0
資金繰り	-7.5	-17.5	-15.0	-10.0	-15.0	-12.5	-17.5	-15.0	-17.5	-15.0	-27.5	-40.0	-50.0	-10.0
設備操業度	-15.0	-25.0	-35.0	-30.0	-50.0	-25.0	-30.0	-40.0	-45.0	-40.0	-50.0	-55.0	-75.0	-20.0
雇用人員	-2.5	-2.5	-5.0	-2.5	-7.5	-10.0	-2.5	-2.5	-10.0	-2.5	-10.0	-15.0	-12.5	2.5
業界景況	-22.5	-32.5	-37.5	-42.5	-50.0	-30.0	-50.0	-52.5	-52.5	-47.5	-62.5	-70.0	-77.5	-7.5

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移



情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
食料品	漬物	生産者の高齢化による生産量の減少が続いており、漬物業者自らの原料野菜の生産や県外からの原料野菜の確保を進めている。外国人技能実習生を対象とした外国人技能実習評価試験を6月に実施することになり、県内2社の実習生が受験を予定している。新型コロナウイルスの影響により、名古屋市での中部バック等のイベント開催は中止となった。第48回通常総会は5月26日に理事会を開催し、書面総会を開催の予定。	
	醤油味噌	コロナ危機で被害甚大で売上減少。収束時期が延びるのが心配。インドからの輸入大豆が止まっていて、先の手配がつかない。アルコールも国の指示で医療業界へ優先されるので、入荷が制限されている。マスクは4月28日に入荷され、組合員も充足している。	
	豆腐	3月に引き続き、学校給食への納品はゼロ、外食産業への納品も9割減である。	
	製麺	4月は新型コロナウイルスの影響で組合員の状況も非常に厳しい。3割ダウンから5割ダウンの所もある。伊勢うどんに関してはお土産がほぼゼロの状況である。早期のイベント等の開催及び新型コロナウイルスの終息を期待している。	
繊維工業	組紐	コロナウイルスの影響がかなり出てきた。4月度の取引先からの注文がほぼなくなる事態になっている。家族経営の事業所が多いので、雇用調整補助金等の支援を受けるのも難しい。コロナが終息しても、この業界の回復は時間がかかるので、非常に心配である。	
	衣料縫製	コロナウイルスの影響を受け、デパートやモール街等の休業により、製品の売上がかなり減り、メーカーからの受注がなくなり、今後の事業展開が大変難しい状況にある。国からの補助並びに保障が必要とされる。	
	テントシート	各業種の休業要請による影響があるように思われる。	
木材・木製品	木材	コロナウイルスの関係で3月以降受注減が続いている。	
製 造 業	紙・紙加工品	紙器段ボール	3月と同じ状況であり、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、食品、医療関係のユーザーと取り引きをしているところは、昨年対比と同じ売上水準である。工業関係や自動車関係ではユーザーの長期休業もあり、需要も減少し、昨年対比同月は減少している。パートの方々では、学校が休校になったことで、子育てのために自宅待機を余儀なくされ休みが増加している。また一部の会員企業では、身近なところで発熱者(陽性ではない?)がたまたま、自主的に自宅待機している社員も出て、生産性が上がらないということも起こっている。
		古紙	4月期の古紙仕入量は：段ボール・約96±6%位、新聞、チラシ・約90±10%位、雑誌・雑がみ、その他を合わせて約95±10%位と思います。コロナウイルス対策に追われ、生活も会社経営も非常事態で医療も地域によって崩壊寸前の所もある様です。様々な対策が打ち出されていますが、感染ピーク抑え込みの効果により他国より長期化が予測され、死亡者を減らし集団免疫の社会になる為に治療薬の早急な増産が必要と思います。マスクはFAX等の営業が入る様になりましたが住宅のウォシュレット等の電子部品不足は未だに続き、住宅の引き渡し等に影響を及ぼしている様です。古着やアルミ缶等のリサイクルも行っている組合員へ業者から連絡があり、「古着は5月半ばより港湾や海外向地の事情が好転しそう。」との事だが在庫コストと相場下落のため、取引単価50%以上下落し、金属の取引価格も同様に40%以上下落している。5月の連休で製造が止まる製紙会社様と8月に止まる製紙会社様があるが製紙原料古紙の購入量は平均20%程のマイナス発注が続いています。国内に売れない古紙は、赤字輸出をしていますが段ボール古紙の輸出価格は以前より持ち直しています。新聞・雑誌の輸出価格は50%以下で推移しています。古紙の持ち行き方は新聞が約10%雑誌が約30%程改善した印象です。ゴミの不法投棄等は連休で悪化した感があります。支援策はありがたいが、企業の存続は自由競争・自助努力に変わりなく生き残れるかどうか分からない。
	印刷	印刷	今年も三重県民手帳の売上金の一部を(社)三重県緑化推進協議会様へ寄付することが出来た。印刷業界においても新型コロナウイルス禍の影響は、過去に経験のない非常に深刻な状況である。先行きが不透明というより確実に厳しい業況が続くと思われる。
窯業・土石製品	伊賀焼	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月から休館が続いているため、陶芸教室を含め来館者数の影響が大きく、組合員においても非常に厳しい状況にある。この状況がいつまで続くのか先がまだ見えないだけに心配である。	
鉄鋼・金属	鍍金	当業界の4月度の生産額は3月よりもコロナウイルス感染拡大で、自動車メーカーの減産の煽りを受け4月下旬よりかなりの落ち込みが出始めた。その他の製品に関しても、横並びが若干の減少といったところである。その中半導体製造装置部品は先月の予測よりも伸び、それに伴う人員確保が課題となるが、もともと波のある業態だけに派遣社員での対応を取らざるを得ない。	
一般機器	四日市	新型コロナ発症後、経済は下降の一途が続いている。緊急事態宣言も5月末日までの延長となった。自助努力しかない現状で、先が全く見えない不安な日々が恐ろしい。	
	津市	4月半ばより、受注のキャンセルや数量の減少が目立ってきた。取引先のゴールデンウィークの休みも当初の案内より1~3日間程休業するという連絡があり、業界全体で落ち込んでいる。また5月についても毎週金曜を休みにする企業も出てきており、しばらくは低迷すると思われる。	
	伊勢	新型コロナウイルスウイルス感染の急拡大を受けて、自動車関連の仕事量は6割まで落ち、大幅ダウンした。輸出入関連も以前から悪くなって困っている。	
電気機器	鳥羽	年度始めて受発注は少ないが、期末の受注残があり、4月としては少し稼働できている。	
輸送機器	鈴鹿	新型コロナウイルス感染症の影響により、大手自動車メーカーの一時休業や生産調整に伴い売上が大きく減少している組合員が大半である。交代勤務での夜勤を減らしたり、有給消化などでしのいでいるが、今後は雇用調整助成金の活用も検討している。	

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
小売業	青果	野菜前半:コロナウイルスの影響で関東、関西の買いだめにより乱高下していたキャベツ、白菜、大根等の価格が安定してきた。ブロッコリーは品種の切り替えで値上りしている。たけのこのシーズンが始まり、また山菜もいろいろ入荷してきた。野菜後半:全体的に例年より高め、家庭での食事機会が多くなり需要が増えた。新玉葱はお値打ち、トマト、きゅうりも前半よりは安くなってきた。果物前半:いちごの需要が減り、価格も下がっている。柑橘類は尾鷲産の甘夏が美味しい。蒲郡産のブランド樹熟デコポンの味は最高である。果物後半:愛知産のハウスみかん、静岡産のマスクメロン等の高級品を中心に安値である。大型連休中の贈答需要が見込めない。熊本産のスイカの入荷が増え、味も良くお値段もお手頃になりそうである。
	自転車	自転車は毎年入学シーズンに最もよく売れるものであるが、今春については製造物の多くが中国からのもので、仕入れが間に合わず、売上は例年程には遠く及ばなかった。4月は少し落ちてくものであるが、例年に点検、整備、修理のお客は若干増えたようである。小売からサービス業との立ち位置への意識を変えていくべき時がきたのかもしれない。
	電器	長引く新型コロナウイルスの感染拡大の影響により販売状況の悪化が続き、更に長引くとより厳しい局面になると思われる。例年春先から各メーカー主導による合展が実施されてきたが、本年は中止。また個展の開催も店舗間の格差が顕著になり全体的には前年を割り込む状況。加盟店もお客様宅訪問での感染を懸念し、販売状況が厳しいが緊急事態宣言下で活動自粛中。今後の状況は新型コロナの感染状況に大きく左右されると思われる。
	石油	4月の県内店頭販売価格については、3月と同様、中東原油(ドバイ)価格の大幅な下落状況により、看板価格が下がり続け、さらに追い打ちをかけるように新型コロナウイルスの感染防止による非常事態宣言を受け、外出を控えた事からガソリン等の販売が激減し在庫過多となり、更なる価格の下落が続いている。県内石油販売事業所においても、外出を避けた事による燃料販売不振が続いており、この連休においても販売が全く期待できず、事業者の資金繰りが益々厳しい状況になってきている。
	スポーツ	新型コロナウイルス対策の中で、この業界も自粛業種に入ってしまったので、多くの組合店舗が休業することになった。学校も5月末まで閉校であり、インターハイ、全中大会も中止になり、ビジネスチャンスが無くなってしまった。組合員には持続化給付金及び雇用調整助成金等を利用するように発信した。
商店街	熊野市	コロナウイルスの影響は相当大きく、各店舗の売上状況は落ち込みが大きい。ただし、通販での販売を展開している事業者はなんとか売上を取れている状況ではあるが従来の売上に比べても落ちこんでいる状況である。休業要請を受けている店舗については、ほとんどの店舗が休業もしくは自粛営業に入っており、各店舗が協力金の申請を始めているが、書類申請に慣れていない事業者も多いようだ。また雇用調整助成金についてはそれ以上に申請が複雑のようで、嘆いている事業者も多いのが現状である。
サービス業	自動車整備	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、整備、運輸部門で大きな需要減となっている。
	旅館	県の休業要請前は前年の80%減位で推移していたが、4月20日、25日頃より旅館に入った施設もあるため、4月全体では90~95%位の売上減であった。
	測量	民間の受注業務は数少なく、1社のみが受けている程度である。景気の悪化による民間の受注減りは避けられないであろう。仕事柄、コロナウイルス感染の可能性は少なく、作業には影響なし。
	警備	コロナウイルス感染拡大防止のため、イベント等の自粛、中止が多い中、従来からの業務が横行しているため、前年度よりは落ちこんでいるが苦しいところまではいっていない。5月は休日も多く、落ち込みそうである。
建設業	総合工事業	新型コロナウイルス感染症対策の影響について(建設工事)資材調達への影響はない。公共工事発注への影響も少なく、例年通りである。しかし年度始めであり、発注量は多くない。(建築工事)衛生器具、浴室器具、炊事器具の調達が困難な状況にあり、完成の遅れや新規契約を控える等の影響が出ている。
	内装工事業	4月は対前年同月比で少し増加となった。例年この時期は年度始めもあり、売上はかなり少ないが、本年度はコロナウイルスの関係もあり、5月の連休以降、業況はかなり落ち込むと予想される。
	水道工事業 (亀山)	特になし。(コロナウイルスによる物品の納期がわからない場合がある。)
運輸業	トラック	燃料価格は原油価格の下落により、先月に比べ1.8%の値下げとなっている。新型コロナウイルスの感染拡大に伴う自動車サプライチェーンへの影響から、国内の自動車産業にも影響が出始めている。(国土交通省)持続可能な物流の実現に向けて『運送業の労働条件改善を図ることを目的』4月24日「標準的な運賃の告示」が行われたが、コロナウイルスが今後国内産業に与える影響を考えると暫くは荷主に対し、運賃交渉する事が難しくなると考えられる。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	4月に地域特産めんにてお世話になり、有難うございました。大変な状況ではあるが、乗り切れるように対策を打っていく覚悟である。今後ともよろしくお願ひしたい。
	醤油味噌	経営継続のための支援金がほしい。
一般機器	四日市	政府の対策の遅れが、経済の悪化に拍車をかけている。医療崩壊の起こらぬ手立ても急務である。
	伊勢	技能実習3号終了時の試験(随時2級)を三重県で受験できるように願ひたい。
サービス業	自動車整備	コロナウイルス対策として、資金繰り等、早急な支援を望む。
	旅館	ゴールデンウィーク中の休業要請に対する県の協力金(上限)12万円は、ほとんどの施設が申請しているようだが、更に5月31日迄延長する事になり、延長の期間についても協力金を支給するよう要望する。小規模の施設からこの金額では何の足しにもならないとの声が上がっている。
	測量	各社に緩やかな成長をと呼びかけているが、思うようにいっていない。